

平成 20 年度

# 一般廃棄物処理の現況

(平成 22 年 8 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課



# 目 次

## 概要編

1 . ごみ処理の概要	
( 1 ) ごみの総排出量.....	1
( 2 ) 各地区の状況.....	2
2 . ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
( 1 ) 全県の状況.....	4
( 2 ) 各地区の状況.....	5
3 . ごみ処理施設の状況	
( 1 ) 全県の状況.....	9
( 2 ) 各地区の状況.....	10
4 . ごみ減量化・資源化状況	
( 1 ) 全県の状況.....	23
( 2 ) 地区別の状況.....	24
5 . 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置	28
6 . し尿処理の概要	
( 1 ) 衛生処理人口.....	33
( 2 ) し尿処理の状況.....	34
( 3 ) し尿処理施設.....	35
7 . 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	36
( 1 ) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	36
( 2 ) 地区別のごみ処理事業経費の概要.....	36
7-2 廃棄物処理事業従事職員.....	40
7-3 委託・許可件数.....	40
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	40
8 . ダイオキシン類対策等の状況	41



# 概要編



# 1. ごみ処理の概要

## (1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1 に計画収集人口の割合を図 1-2 に示す。

平成 20 年度における県内のごみ総排出量は 241,355t であり、前年に比べ約 5.6%の減少となっている。

計画収集人口は 729,645 人で総人口の 99.7%となっている。1 人 1 日当たりごみ排出量は 903g で、前年より 41g 減少している。

ごみ総排出量及び 1 人 1 日当たりごみ排出量は災害廃棄物の発生した平成 18 年度を除くと近年減少傾向が続いている。

表1-1 ごみ排出量と処理の推移

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
総人口(人)	755,527	747,988	744,794	739,982	732,013
計画収集人口	753,206	744,946	742,403	737,579	729,645
自家処理人口	2,321	3,042	2,391	2,403	2,368
計画収集率(%)	99.7	99.6	99.7	99.7	99.7
ごみ総排出量(t/年)	264,111	258,251	272,881	255,790	241,355
計画収集量	230,612	204,419	216,204	206,292	195,999
直接搬入量	31,903	51,467	54,286	47,115	42,911
集団回収量	1,596	2,365	2,391	2,383	2,445
ごみ総処理量(t/年)	253,315	255,886	269,584	253,383	239,034
直接焼却	166,555	173,259	170,346	167,034	163,595
焼却以外	79,396	75,955	79,564	79,911	70,148
直接埋立	7,364	6,672	19,674	6,438	5,291
1人1日当たり ごみ排出量(g)	958	946	1,004	944	903
災害廃棄物(t/年)	-	-	(997)	-	-

注) 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の内数

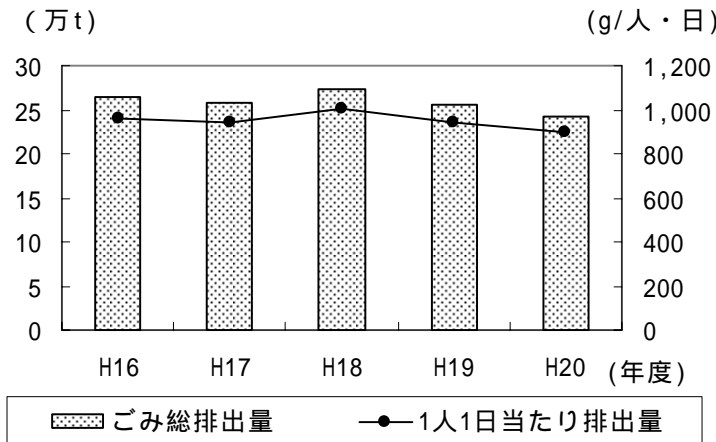


図1-1 ごみ総排出量の推移

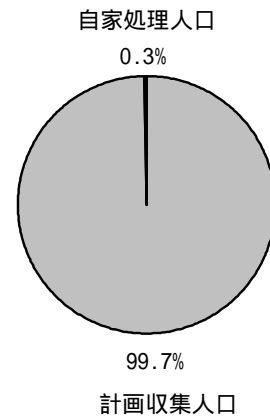


図1-2 計画収集人口の割合

注) ごみ総排出量 (t/年) = 計画収集量 + 直接搬入量 + 集団回収量

ごみ総処理量 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立量

1 人 1 日 当 たり ご み 排 出 量 (g/人・日) = ごみ総排出量 / 総人口 / 365 日 (366 日) × 10<sup>6</sup>

## (2) 各地区の状況

### < 松江地区 >

#### 松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### 東出雲町

可燃ごみ処理は、松江市に委託している。

#### 安来市

可燃ごみ処理は、平成 19 年 4 月 25 日より焼却施設を休止し、民間業者へ委託処理している。

当地区のごみ総排出量は 84,742t、処理量合計は 84,470t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 926g と県平均の 903g を上回っている。

### < 出雲地区 >

#### 奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### 雲南市，飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町、旧加茂町、旧木次町、旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村、旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

#### 出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### 斐川町

可燃ごみ処理は、出雲市に委託している。

当地区のごみ総排出量は 78,792t、処理量合計は 77,331t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 899g と県平均の 903g を下回っている。

### < 浜田地区 >

#### 大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

#### 川本町，美郷町，邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

#### 浜田市，江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

#### 益田市，津和野町，吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

当地区のごみ総排出量は 67,603t、処理量合計は 67,015t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 848g と県平均の 903g を下回っている。



< 隠岐地区 >

隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 10,218t、処理量合計は 10,218t であり、1 人 1 日当たり  
ごみ排出量は 1,223g と県平均の 903g を大きく上回っている。

表 1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区
総人口(人)	250,679	240,027	218,424	22,883
計画収集人口	250,679	238,829	217,254	22,883
自家処理人口	0	1,198	1,170	0
計画収集率(%)	100%	99.5%	99.5%	100%
ごみ総排出量(t/年)	84,742	78,792	67,603	10,218
計画収集量	61,863	70,910	58,554	4,672
直接搬入量	22,434	6,470	8,461	5,546
集団回収量	445	1,412	588	0
ごみ総処理量(t/年)	84,470	77,331	67,015	10,218
直接焼却	56,681	50,448	48,271	8,195
焼却以外	26,801	23,495	18,691	1,161
直接埋立	988	3,388	53	862
1人1日当たり ごみ排出量(g)	926	899	848	1,223

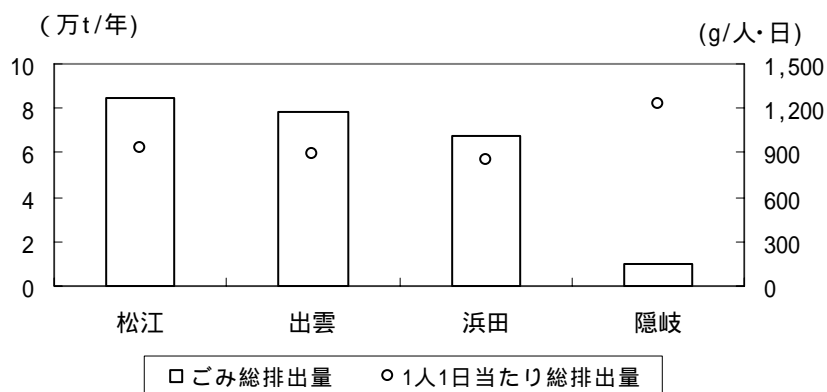


図1-3 ブロック別ごみ排出量

## 2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

### (1) 全県の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

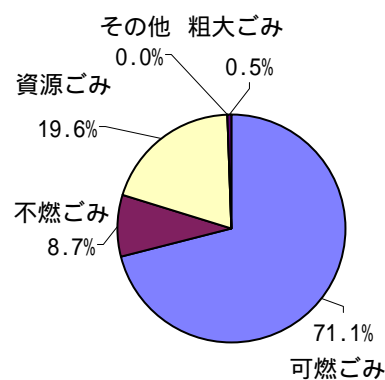
平成 20 年度に市町村が処理したごみ量は 239,034t であり、収集内訳は、可燃ごみ 71.1%、不燃ごみ 8.7%、資源ごみ 19.6%、粗大ごみ 0.5%、その他は 0.1% 未満であった。

処理内訳では、163,595t (68.4%) は直接焼却され、70,148t (29.3%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの 5,291t (2.2%) は直接埋立とされている。

県全体で 50,218t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 52,663t が資源化された。

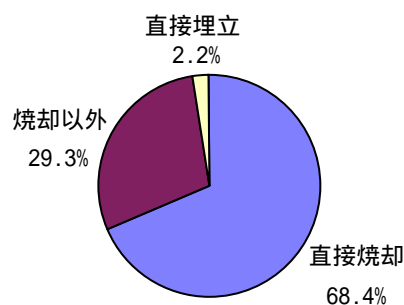
表 2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

県全体		平成20年度
計画収集量		195,999
収集内訳	可燃ごみ	139,397
	不燃ごみ	17,072
	資源ごみ	38,462
	その他	34
	粗大ごみ	1,034
直接搬入量		42,911
集団回収量		2,445
総排出量		241,355
自家処理量		740
処理内訳	中間	
	直接焼却	163,595
	焼却以外	70,148
	最終処分	
	直接埋立	5,291
	焼却残渣	17,246
破碎圧縮残渣	16,636	
資源化		50,218
処理合計		239,034
リサイクル率 (%)		21.8
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		903



四捨五入しているため合計が 100% にならない。

図2-1 ごみの収集内訳



四捨五入しているため合計が 100% にならない。

図2-2 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

(2) 各地区の状況

< 松江地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

平成 20 年度に当地区内で処理されたごみ量は 84,470t であり、収集内訳は、可燃ごみ 62.3%、不燃ごみ 9.3%、資源ごみ 27.5%、粗大ごみ 0.9%であった。

処理内訳では、56,681t(67.1%)が直接焼却され、26,801t(31.7%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの 988t(1.2%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 18,479t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 18,924t が資源化された。

表 2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

松江地区		平成20年度
計画収集量		61,863
収集内訳	可燃ごみ	38,522
	不燃ごみ	5,726
	資源ごみ	17,036
	その他	0
	粗大ごみ	579
直接搬入量		22,434
集団回収量		445
総排出量		84,742
自家処理量		0
処理内訳	中 直接焼却	56,681
	焼却以外	26,801
	最終処分 直接埋立	988
	焼却残渣	6,892
	破碎圧縮残渣	7,859
	資源化	18,479
	処理合計	84,470
リサイクル率 (%)		22.3
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		926

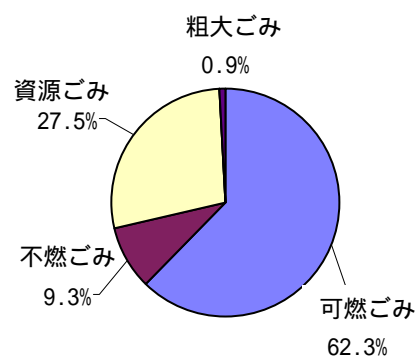


図2-3 ごみの収集内訳

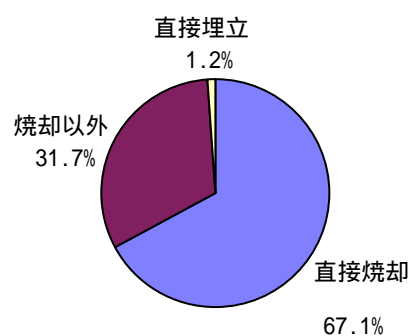


図2-4 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

< 出雲地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-3、ごみの収集内訳を図 2-5、ごみの処理内訳を図 2-6 に示す。

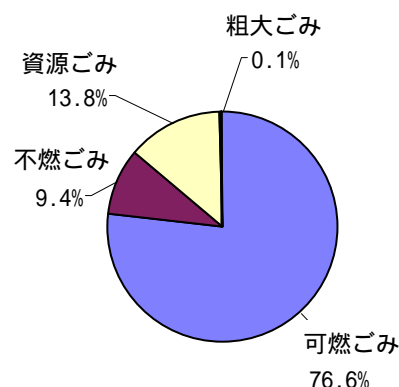
平成 20 年度に当地区内で処理されたごみ量は 77,331t であり、収集内訳は、可燃ごみ 76.6%、不燃ごみ 9.4%、資源ごみ 13.8%、粗大ごみ 0.1%、その他 0.1%未満であった。

処理内訳では、50,448t(65.2%)が直接焼却され、23,495t(30.4%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 3,388t(4.4%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 17,157t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 18,569t が資源化された。

表 2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

出雲地区		平成20年度
計画収集量		70,910
収集内訳	可燃ごみ	54,334
	不燃ごみ	6,699
	資源ごみ	9,770
	その他	34
	粗大ごみ	73
直接搬入量		6,470
集団回収量		1,412
総排出量		78,792
自家処理量		303
処理内訳	中	
	直接焼却	50,448
	焼却以外	23,495
	最終処分	
	直接埋立	3,388
	焼却残渣	4,693
破碎圧縮残渣	3,406	
資源化		17,157
処理合計		77,331
リサイクル率 (%)		23.6
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		899



四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-5 ごみの収集内訳

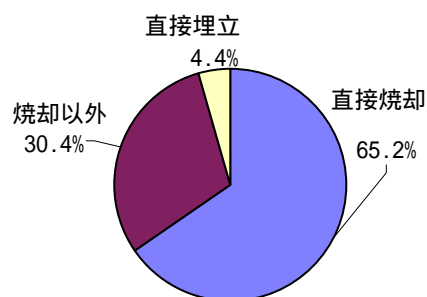


図2-6 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

< 浜田地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-4、ごみの収集内訳を図 2-7、ごみの処理内訳を図 2-8 に示す。

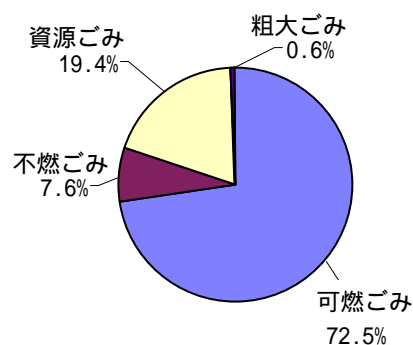
平成 20 年度に当地区内で処理されたごみ量は 67,015t であり、収集内訳は、可燃ごみ 72.5%、不燃ごみ 7.6%、資源ごみ 19.4%、粗大ごみ 0.6%であった。

処理内訳では、48,271t(72.0%)が直接焼却され、18,691t(27.9%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 53t(0.1%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 13,890t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 14,478t が資源化された。

表 2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

浜田地区		平成20年度
計画収集量		58,554
収集内訳	可燃ごみ	42,431
	不燃ごみ	4,434
	資源ごみ	11,345
	その他	0
	粗大ごみ	344
直接搬入量		8,461
集団回収量		588
総排出量		67,603
自家処理量		437
処理内訳	中 直接焼却	48,271
	焼却以外	18,691
	最終処分 直接埋立	53
	焼却残渣	4,259
	破碎圧縮残渣	5,019
	資源化	13,890
	処理合計	67,015
リサイクル率 (%)		21.4
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		848



四捨五入しているため合計が 100% にならない。

図2-7 ごみの収集内訳

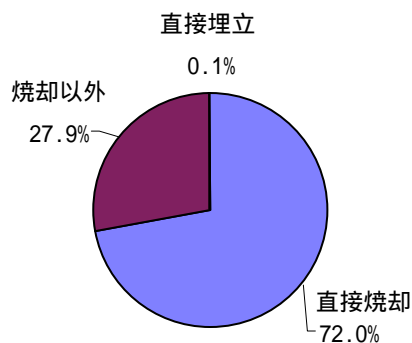


図2-8 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

< 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

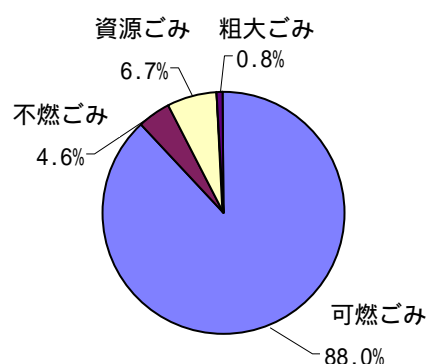
平成 20 年度に当地区内で処理されたごみ量は 10,218t であり、収集内訳は、可燃ごみ 88.0%、不燃ごみ 4.6%、資源ごみ 6.7%、粗大ごみ 0.8%であった。

処理内訳では 8,195t(80.2%)が直接焼却され、1,161t(11.4%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 862t(8.4%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 692t がごみから分別・資源化された。

表 2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

隠岐地区		平成20年度
計画収集量		4,672
収集内訳	可燃ごみ	4,110
	不燃ごみ	213
	資源ごみ	311
	その他	0
	粗大ごみ	38
直接搬入量		5,546
集団回収量		0
総排出量		10,218
自家処理量		0
処理内訳	中 直接焼却	8,195
	焼却以外	1,161
	最終処分 直接埋立	862
	焼却残渣	1,402
	破碎圧縮残渣	352
	資源化	692
処理合計		10,218
リサイクル率 (%)		6.8
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		1,223



四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-9 ごみの収集内訳

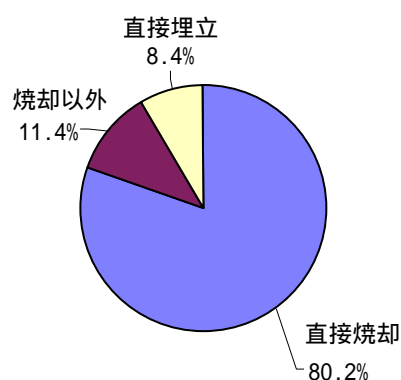


図2-10 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

### 3. ごみ処理施設の状況

#### (1) 全県の状況

平成 20 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1、2 に示す。

県内のごみ焼却施設は 11 施設(処理能力 766.06 t /日)、ごみ燃料化施設は、1 施設(処理能力 30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は 2 施設、資源化等施設は 22 施設、粗大ごみ処理施設は 13 施設、保管施設は 14 施設である。

埋立中の最終処分場は 33 施設あり、全体埋立容量は 2,043,666m<sup>3</sup>、残余容量は 752,484 m<sup>3</sup>となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 <sup>1</sup>	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	11	766.06	-
ごみ燃料化施設	1	30	-
中継施設	2	60	-
資源化等の施設	22	245.9	-
粗大ごみ処理施設	13	258.0	-
保管施設	14	26,597(t/年度) <sup>2</sup>	-
最終処分場	33	2,043,666 (m <sup>3</sup> )	752,484 (m <sup>3</sup> )

1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成 20 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却		ガス化溶融 (キルン式)	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	バッチ			
炉型式	全連続	バッチ	全連続		
施設数	3	6	2	1	12
規模(t/日)	374.5	75.56	316	30	796.06

ごみ燃料化施設(RDF)及びガス化溶融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

(2) 各地区の状況

< 松江地区 >

松江市・東出雲町

松江市・東出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設は2施設(処理能力312.5t/日)で、共に全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は8施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は9施設あり、全体埋立容量は818,452m<sup>3</sup>、残余容量は211,465m<sup>3</sup>となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	2	312.5	-
資源化等の施設	8	106.7	-
粗大ごみ処理施設	1	59	-
保管施設	3	14,293(t/年度) <sup>1</sup>	-
最終処分場 <sup>2</sup>	9	818,452(m <sup>3</sup> )	211,465(m <sup>3</sup> )

1. 保管施設の処理能力は、平成20年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	南工場	112.5	焼却	全連続
	北工場	200	焼却	全連続



安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-5、6に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力52t/日)で平成19年4月25日より休止中である。

粗大ごみ処理施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は99,304m<sup>3</sup>、残余容量は56,595m<sup>3</sup>となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
粗大ごみ処理施設	3	40	-
最終処分場	3	99,304(m <sup>3</sup> )	56,595(m <sup>3</sup> )

表3-6 焼却施設の状況(休止中)

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
安来市	清瀬クリーンセンター	52	焼却	准連続

1.ごみ焼却施設は平成19年4月25日より休止中。

< 出雲地区 >

奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-7、8 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 20 t /日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 31,360m<sup>3</sup>、残余容量は 8,582m<sup>3</sup>となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	20	-
粗大ごみ処理施設	1	7	-
保管施設	1	203 (t/年度) <sup>1</sup>	-
最終処分場 <sup>2</sup>	1	31,360 (m <sup>3</sup> )	8,582 (m <sup>3</sup> )

1. 保管施設の処理能力は、平成 20 年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物処理センター	20	焼却	バッチ

雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表3-9～11に示す。

雲南市のうち旧大東町、旧加茂町、旧木次町、旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村、旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は41,300m<sup>3</sup>、残余容量は30,634m<sup>3</sup>となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ燃料化施設	1	30	-
中継施設	1	15	-
資源化等の施設	2	14.9	-
保管施設	2	1,128(t/年度) <sup>1</sup>	-
最終処分場	3	41,300(m <sup>3</sup> )	30,634(m <sup>3</sup> )

1.保管施設の処理能力は、平成20年度保管量である。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいしクリーンセンター	15	圧縮・梱包

出雲市・斐川町

出雲市・斐川町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-12、13に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力218t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等施設は2施設、粗大ごみ処理施設は3施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、全体埋立容量は528,231m<sup>3</sup>、残余容量は297,565m<sup>3</sup>となっている。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	218	-
資源化等の施設	2	75	-
粗大ごみ処理施設	3	83	-
保管施設	2	6,956(t/年度) <sup>1</sup>	-
最終処分場 <sup>2</sup>	4	528,231(m <sup>3</sup> )	297,565(m <sup>3</sup> )

1. 保管施設の処理能力は、平成20年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融・改質	全連続

< 浜田地区 >

大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-14、15 示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は 3 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 112,648m<sup>3</sup>、残余容量は 10,300m<sup>3</sup>となっている。

表3-14 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H20.3月末)
中継施設	1	45	-
資源化等の施設	3	11	-
粗大ごみ処理施設	1	25	-
保管施設	3	1,540 (t/年度)	-
最終処分場	3	112,648 (m <sup>3</sup> )	10,300 (m <sup>3</sup> )

保管施設の処理能力は、平成 20 年度保管量である。

表3-15 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	処理内容
大田市	大田可燃物中間処理施設	45	破碎・圧縮・梱包

川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-16、17に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力12t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は14,300m<sup>3</sup>、残余容量は7,594m<sup>3</sup>となっている。

表3-16 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	12	-
資源化等の施設	1	1.7	-
粗大ごみ処理施設	1	5	-
保管施設	1	1,645(t/年度)	-
最終処分場	1	14,300(m <sup>3</sup> )	7,594(m <sup>3</sup> )

保管施設の処理能力は、平成20年度保管量である。

表3-17 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	笹畑クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-18、19に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力98t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)による処理を行っている。

資源化等施設は2施設、粗大ごみ処理施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は136,200m<sup>3</sup>、残余容量は20,924m<sup>3</sup>となっている。

表3-18 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	98	-
資源化等の施設	2	10.77	-
粗大ごみ処理施設	2	34	-
最終処分場	3	136,200(m <sup>3</sup> )	20,924(m <sup>3</sup> )

埋立が終了した施設は含まない。

表3-19 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域 行政組合	エコクリーンセンター	98	ガス化溶融 ・改質	全連続

益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-20、21に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力62t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は2施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は156,871m<sup>3</sup>、残余容量は30,982m<sup>3</sup>となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	62	-
資源化等の施設	2	22.1	-
保管施設	1	784(t/年度) <sup>1</sup>	-
最終処分場 <sup>2</sup>	3	156,871(m <sup>3</sup> )	30,982(m <sup>3</sup> )

1.保管施設の処理能力は、平成20年度保管量である。

2.埋立が終了した施設は含まない。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
益田地区広域市町村圏事務組合	益田地区広域クリーンセンター	62	焼却	全連続



< 隠岐地区 >

隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-22、23 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t /日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m<sup>3</sup>、残余容量は 63,115m<sup>3</sup>となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	25	-
資源化等の施設	1	2.7	-
最終処分場	1	80,000 (m <sup>3</sup> )	63,115 (m <sup>3</sup> )

埋立が終了した施設は含まない。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

## 海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-24、25に示す。

海士町のごみ焼却施設は1施設(処理能力7t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は12,000m<sup>3</sup>、残余容量は9,154m<sup>3</sup>となっている。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	7	-
資源化等の施設	1	1	-
粗大ごみ処理施設	1	5	-
保管施設	1	48(t/年度)	-
最終処分場	1	12,000(m <sup>3</sup> )	9,154(m <sup>3</sup> )

保管施設の処理能力は、平成20年度保管量である。

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町清掃センター	7	焼却	バッチ

西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-26、27に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は1施設(処理能力10t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は13,000m<sup>3</sup>、残余容量は5,574m<sup>3</sup>となっている。

なお、資源ごみは海士町の資源化施設にて処理している。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	10	-
最終処分場	1	13,000 (m <sup>3</sup> )	5,574 (m <sup>3</sup> )

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	清美苑	10	焼却	バッチ

知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-28、29に示す。

知夫村のごみ焼却施設は1施設（処理能力1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	1.56	-

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知 夫 村	知夫村ゴミ焼却場	1.56	焼却	バッチ

## 4. ごみ減量化・資源化状況

### (1) 全県の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

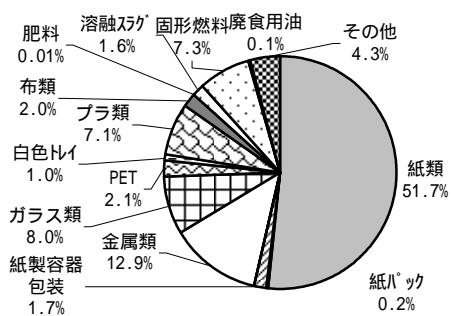
平成20年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は50,218tであった。その内、紙類が25,984t(51.7%)で最も多く、次に、金属類6,462t(12.9%)、ガラス類4,008t(8.0%)であった。

また、集団回収により資源された量は2,445tであり、紙類が2,186t(89.4%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	白色トイ
市町村	25,984	87	851	6,462	4,008	1,054	479
集団回収	2,186	43	0	105	71	0	0

区分	プラ類	布類	肥料	溶融スラグ	固形燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	3,580	1,027	4	805	3,678	58	2,141	50,218
集団回収	0	40	0	0	0	0	0	2,445



四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-1 市町村による資源化の内訳

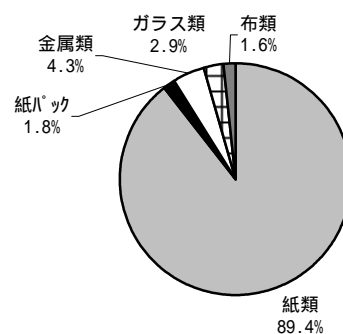


図4-2 集団回収の内訳

(2) 地区別の状況

< 松江地区 >

当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3、集団回収の内訳を図4-4に示す。

平成20年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は18,479tであった。その内、紙類が10,496t(56.8%)で最も多く、次に、プラスチック類2,384t(12.9%)、金属類1,954t(10.6%)であった。

また、集団回収により資源化された量は445tであり、紙類が405t(91.0%)とほとんどを占めている。

表4-2 資源化の状況

区分	紙類	紙パツク	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	白色トレイ
市町村	10,496	35	680	1,954	1,643	446	0
集団回収	405	40	0	0	0	0	0

区分	プラ類	布類	肥料	溶融スラク	固化燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	2,384	632	4	0	0	33	172	18,479
集団回収	0	0	0	0	0	0	0	445

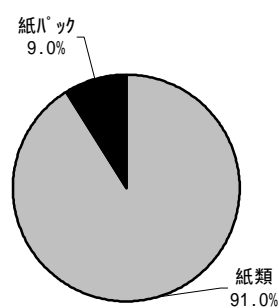
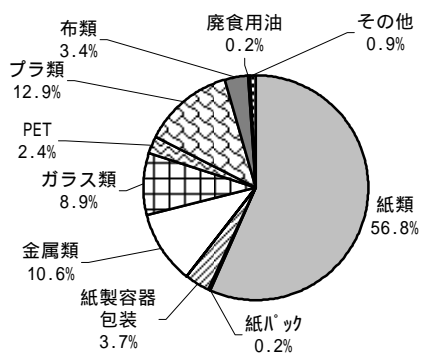


図4-3 市町村による資源化の内訳

図4-4 集団回収の内訳

< 出雲地区 >

当地区における資源化の状況を表 4-3、市町村による資源化の内訳を図 4-5、集団回収の内訳を図 4-6 に示す。

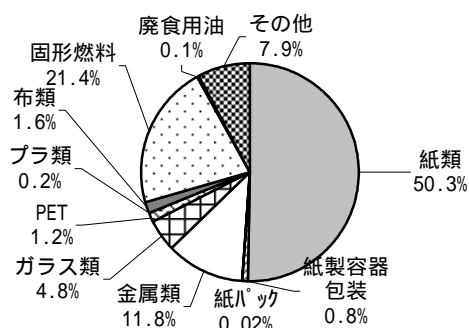
平成 20 年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 17,157t であった。その内、紙類が 8,627t (50.3%) で最も多く、次に固形燃料 3,678t (21.4%)、金属類 2,023t (11.8%) であった。

また、集団回収により資源化された量は 1,412t であり、紙類が 1,286t (91.1%) とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況

区 分	紙類	紙パツク	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	白色トイ
市町村	8,627	3	130	2,023	817	206	0
集団回収	1,286	2	0	86	17	0	0

区 分	プラ類	布類	肥料	溶融 スラク	固形化 燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	36	269	0	0	3,678	10	1,358	17,157
集団回収	0	21	0	0	0	0	0	1,412



四捨五入しているため合計が 100% にならない。

図4-5 市町村による資源化の内訳

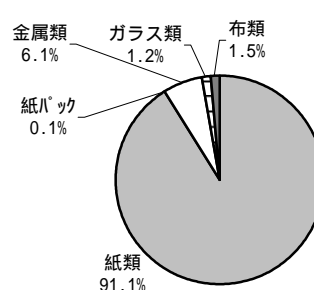


図4-6 集団回収の内訳

< 浜田地区 >

当地区における資源化の状況を表 4-4、市町村による資源化の内訳を図 4-7、集団回収の内訳を図 4-8 に示す。

平成 20 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 13,890t であった。その内、紙類が 6,560t (47.2%) で最も多く、次に金属類 2,233t (16.1%), ガラス類 1,437t (10.3%) であった。

また、集団回収によりにより資源化された量は 588t であり、紙類が 495t (84.2%) とほとんどを占めた。

表4-4 資源化の状況

区 分	紙類	紙パ <sup>ッ</sup> ク	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	白色トレイ
市町村	6,560	49	41	2,233	1,437	382	479
集団回収	495	1	0	19	54	0	0

区 分	プラ類	布類	肥料	溶融 スラ <sup>ク</sup>	固形化 燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	1,157	126	0	805	0	12	609	13,890
集団回収	0	19	0	0	0	0	0	588

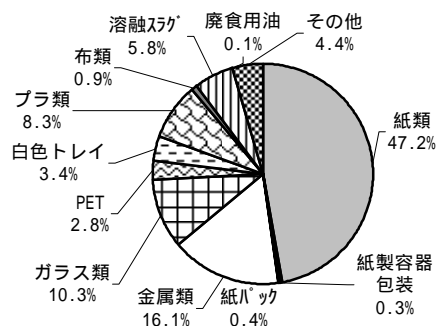


図4-7 市町村による資源化の内訳

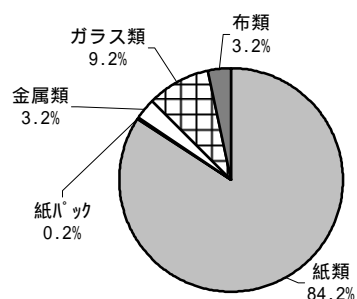


図4-8 集団回収の内訳



< 隠岐地区 >

隠岐地区における資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-9 に示す。

平成 20 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 692t であった。その内、紙類が 301t ( 43.5% ) で最も多く次に金属類 252t(36.4%)、ガラス類 111t ( 16.0% ) であった。

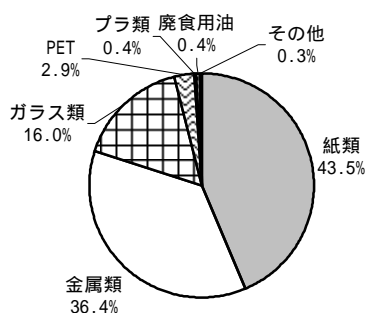
なお、集団回収は行われていない。

表4-5 資源化の状況

区 分	紙類	紙パツク	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	白色トレイ
市町村	301	0	0	252	111	20	0

区 分	プラ類	布類	肥料	溶融 スラグ	固形化 燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	3	0	0	0	0	3	2	692



四捨五入しているため合計が 100% にならない。

図4-9 市町村による資源化の内訳

## 5 . 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

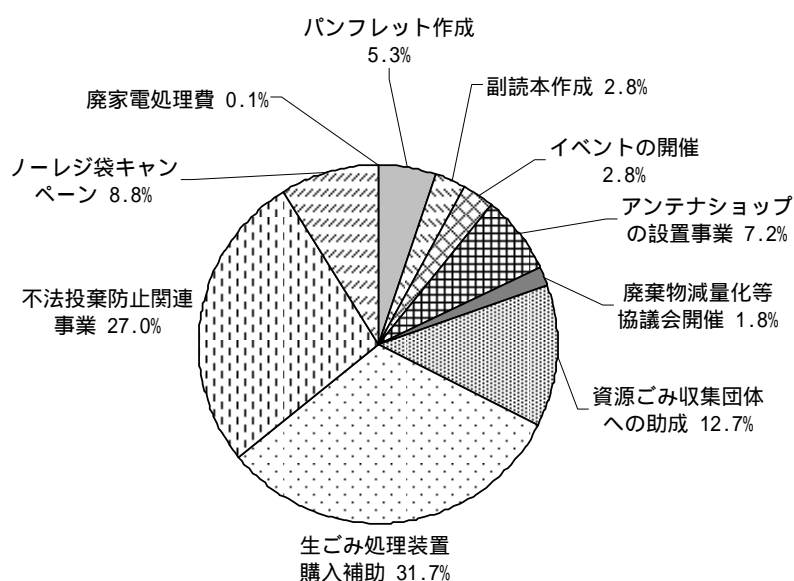
平成 21 年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について表 5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表 5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表 5-5、事業予算額の内訳について図 5-1 に示す。

生ごみ堆肥化装置の設置助成や資源ごみ回収団体への助成等住民への支援事業が多く行われている。

表5-1 平成21年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業

事業類型	事業名	自治体数	当初予算額(千円)
啓発資料作成等	パンフレット作成	8	3,062
	副読本作成	1	1,607
イベント等の開催	リサイクルバザーの開催	1	0
	イベントの開催	5	1,603
	環境アンテナショップ設置事業	1	4,200
ごみ減量化に関する助成	廃棄物減量化等協議会開催	4	1,035
	資源ごみ回収への助成	5	7,363
	生ごみ堆肥化装置の設置補助	10	18,354
	資源ごみ回収機器の貸出	1	0
啓発事業等	不法投棄防止事業	13	15,634
	ノーレジ袋キャンペーン	1	5,080
分別収集促進事業	廃家電処理費	1	42
合計		-	57,980

注)生ごみ堆肥化装置の設置補助額は実績。



注)生ごみ堆肥化装置の設置補助額は H21 年度実績。

四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図5-1 平成21年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成 21 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
松江市	可燃	半透明(白)	20/30/45ℓ	12/15/18 円	高密度ポリエチレン(炭酸カルシウム10%)
	不燃	半透明(緑)	30/45ℓ	16/19 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45ℓ	16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	緑 粗大シール	400×500mm	21/31.5/42 円 250 円(粗大シール)	中密度ポリエチレン
	"		500×650mm		
	"		700×800mm		
	不燃	青 粗大シール	300×420mm	10.5/21/31.5/ 42 円 250 円(粗大シール)	低密度ポリエチレン
	"		400×500mm		
	"		500×650mm		
資源	水色,灰色 橙	700×800mm	15.7 円 21 円 10.5 円 15.7 円	低密度ポリエチレン	
"		400×500mm			
"		500×650mm			
出雲市	可燃	半透明(乳白)	25/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(黄・赤)	25/45ℓ	30/50 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	25/45ℓ	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃(大)	半透明(黄色)	800×600/420mm	60 円	高密度ポリエチレンロテックLL(柔軟材)10% 混入
	"(小)	"	700×540/350mm	40 円	
	不燃	半透明(薄色)	870×650/460mm	50 円	低密度ポリエチレン
	"	"	700×550/390mm	30 円	
	資源	透明	870×650/460mm	20 円	低密度ポリエチレン
大田市	可燃	透明(黄)	20/30/45ℓ	25/30/50 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	30/45ℓ	30/50 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(白)	45ℓ	無料	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	25/35/45 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	15/30/45ℓ	25/30/35 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	15/30/45ℓ	25/30/35 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	15/20/30 円	高密度ポリエチレン
雲南市	可燃	半透明(黄)	20/40ℓ	30/44 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42 円	高密度ポリエチレン
東出雲町	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	15/18 円	活性剤入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明	45ℓ	30 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45ℓ	12/15 円	低密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	半透明	30/45ℓ	10.7 円	炭加入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(青・緑・黄)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63 円	高密度ポリエチレン
	"	"	20/40ℓ	30/44 円	
	不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42 円	高密度ポリエチレン
資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42 円	高密度ポリエチレン	
斐川町	可燃	半透明(乳白)	600×500mm	25 円	活性剤入り高密度ポリエチレン
	"	半透明(黄)	800×650mm	50 円	
	不燃	透明	600×500mm 800×650mm	25 円 50 円	ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白)	10/25ℓ	31.5/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ	15.7 円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ		
	資源(包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
粗大	シール	5 枚綴り	31.4 円	紙	

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成 21 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
美郷町	可燃	半透明(白)	10/25ℓ	31.5/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ	15.7 円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ		
	資源(包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
粗大	シール	5 枚綴り	31.4 円	紙	
邑南町	可燃	半透明(白)	10/25ℓ	31.5/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ	15.7 円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ		
	資源(包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
粗大	シール	5 枚綴り	31.4 円	紙	
津和野町	可燃	オレンジ	20/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
	資源(容器プラ)	桃	20/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
	(商品プラ)	黄	"	"	"
	(缶類)	黒縁	"	"	低密度ポリエチレン
	(びん類)	青縁	"	"	"
吉賀町	可燃	半透明(赤字)	800×600 mm	50 円	高密度ポリエチレン
	"	"	650×500 mm	33.3 円	"
	不燃(ビン)	半透明(青字)	400×600mm	50 円	低密度ポリエチレン
	(加)	半透明(黒字)	650×800 mm	"	"
資源(容器プラ)	半透明(ピンク字)	650×800 mm	50 円	高密度ポリエチレン	
(商プラ)	半透明(黄字)	"	"	"	
隠岐の島町	資源+	半透明	690×550 mm	9.975 円	高密度ポリエチレン
海士町	可燃	チケット		70 円	紙
	不燃	チケット		70 円	紙
	資源	チケット		70 円	紙
		半透明(黄)	800×650 mm	"	ポリエチレン(酸化鉄配合)
西ノ島町	可燃・不燃	チケット		80 円/10kg	
知夫村	可燃	半透明(黄)	中/小/特小	100/60/30 円	高密度ポリエチレン活性炭付
	不燃	チケット	粗大/大型粗大	200/1000 円券	
	資源(ビン)	半透明(黄)	20ℓ	140 円	高密度ポリエチレン活性炭付
	資源(加)	"	45ℓ	140 円	
資源(ペット)	"	20/45ℓ	70/140 円		
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エコセンター)	可燃	半透明(茶)	20/40ℓ(手さげ型)	30/44 円	高密度ポリエチレン0.025m/m
	不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42 円	低密度ポリエチレン0.05m/m
	資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42 円	低密度ポリエチレン0.05m/m
雲南市・飯南町 事務組合 (しいしかりン センター)	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ 20/40ℓ	42/63 円 30/44 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42 円	高密度ポリエチレン
邑智郡総合 事務組合	可燃	半透明(白)	10/25ℓ	31.5/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25ℓ	15.7 円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45ℓ		
	資源(包装プラ)	半透明(桃色)	45ℓ		
	資源(包装紙)	半透明(黄緑色)	45ℓ		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45ℓ		
粗大	シール	5 枚綴り	31.4 円	紙	
鹿足郡不燃物 処理組合	不燃	半透明	45ℓ	50 円	高密度ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成 21 年度

市町村	区分	ごみ区分	色	容 量	値段	材 質
					1枚あたり	
松江市		可燃	半透明(白)	20/30/45ℓ		高密度ポリエチレン(炭酸カルシウム10%)
		不燃	半透明(黄)	30/45ℓ		低密度ポリエチレン
浜田市		可燃	黄	800×700mm	84円	中密度ポリエチレン
		不燃	黄	800×700mm	84円	低密度ポリエチレン
		資源	茶	800×700mm	42円	低密度ポリエチレン
出雲市		可燃	半透明(乳白)	45ℓ	120円	高密度ポリエチレン
		不燃	透明(黄・赤)	45ℓ	120円	低密度ポリエチレン
益田市		可燃	半透明(黄)	800×600/420mm	100円	高密度ポリエチレン
大田市		可燃	半透明(緑)	45ℓ	100円	高密度ポリエチレン
安来市		可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45ℓ	25/35/45円 100円	高密度ポリエチレン
		不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45ℓ	25/30/35円 100円	低密度ポリエチレン
江津市		可燃・不燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	15/20/30円	高密度ポリエチレン
雲南市 (雲南工務センター)		可燃	半透明(茶)	20/40ℓ(手さげ型)	30/44円	高密度ポリエチレン0.025m/m
		不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.05m/m
		資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.05m/m
奥出雲町		可燃	半透明	30/45ℓ	10.7円	炭加入り高密度ポリエチレン
		不燃	透明(赤)	45ℓ	14.8円	低密度ポリエチレン
		資源	透明(青・緑・黄)	45ℓ	14.8円	低密度ポリエチレン
川本町		可燃	半色半透明	10/25ℓ	31.5/63円	高密度ポリエチレン
		不燃	半色半透明	25ℓ	31.5円	高密度ポリエチレン
		資源	半色半透明(水色・ピンク・黄緑)	45ℓ	15.7円	高密度ポリエチレン
		粗大	シール	5枚綴り	31.4円	
津和野町		可燃	ピンク	20/45ℓ	30/50円	高密度ポリエチレン
		資源(容器)	桃	20/45ℓ	30/50円	高密度ポリエチレン
		(商品)	黄	"	"	"
		(缶類)	黒緑	"	"	低密度ポリエチレン
		(びん類)	青緑	"	"	"
吉賀町		可燃	半透明(赤字)	800×600mm	50円	高密度ポリエチレン
		"	"	650×500mm	33.3円	"
		不燃(びん)	半透明(青字)	400×600mm	50円	低密度ポリエチレン
		(か)	半透明(黒字)	650×800mm	"	"
資源(容器)	半透明(ピンク字)	650×800mm	50円	高密度ポリエチレン		
	半透明(黄字)	"	"	"		
海士町		可燃	チケツト		70円	紙
		不燃	チケツト		70円	紙
		資源	チケツト		70円	紙
		半透明(黄)	650×800mm	"	"	ポリエチレン(酸化鉄配合)
西ノ島町		可燃	チケツト		80円/10kg	
		可燃	半透明(茶)	20/40ℓ(手さげ型)	30/44円	高密度ポリエチレン0.025m/m
		不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.05m/m
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南工務センター)		資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42円	低密度ポリエチレン0.05m/m

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ処理機等の購入に対する助成(平成21年度)

市町村名	補助基準	備 考
松江市	補助率 1/2、上限 30 千円	個人
	補助率 1/2、上限 100 万円	事業者
浜田市	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
出雲市	補助率 1/2、上限 25 千円	コンポスト(1世帯当たり年2基まで)
		電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
益田市	補助率 1/2、上限 5 千円	コンポスト
	補助率 1/3、上限 15 千円	電気式(補助は70基のみ)
大田市	補助率 1/2、上限 3 千円	1世帯当たり2基まで
安来市	補助率 1/2、上限 5 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで)
	補助率 1/3、上限 25 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
雲南市	補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで)または 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
東出雲町	補助率 1/2、上限 3 千円	コンポスト
	補助率 1/3、上限 30 千円	電気式生ごみ処理機
斐川町	補助率 1/2、上限 5 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで)
	補助率 1/2、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機
川本町	補助率 1/2、上限 3 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで)
	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
津和野町	補助率 1/2、上限 3.5 千円	コンポスト
	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機

## 6. し尿処理の概要

### (1) 衛生処理人口

県内のし尿処理人口及び処理量を表6-1、衛生処理人口の推移を図6-1、衛生処理人口の内訳を図6-2に示す。

平成20年度における県内の水洗化人口は、535,349人(73%)、非水洗化人口は、196,664人(27%)である。水洗化人口は前年の約3%増で、平成16年度と比べると約5.9%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
総人口(人)	755,527	747,988	744,794	739,982	732,013
水洗化人口(人)	505,707	505,800	513,519	519,728	535,349
下水道人口(人)	222,649	214,672	226,078	238,931	252,546
コミュニティ・プラント人口(人)	4,996	5,063	5,160	4,588	4,644
浄化槽人口(人)	278,062	286,065	282,281	276,209	278,159
非水洗化人口(人)	249,820	242,188	231,275	220,254	196,664
計画収集人口(人)	235,200	229,640	221,134	211,251	190,201
自家処理人口(人)	14,620	12,548	10,141	9,003	6,463
総処理量(kℓ/年)	322,948	320,670	318,213	310,896	304,095
し尿計画処理量(kℓ/年)	156,699	147,040	140,141	131,573	123,798
自家処理量(kℓ/年)	8,661	9,027	6,964	5,684	3,885
浄化槽汚泥量(kℓ/年)	157,588	164,603	171,108	173,639	176,412

注) 総人口 = 水洗化人口 + 非水洗化人口

水洗化人口 = 公共下水道人口 + コミュニティ・プラント人口 + 浄化槽人口

非水洗化人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口

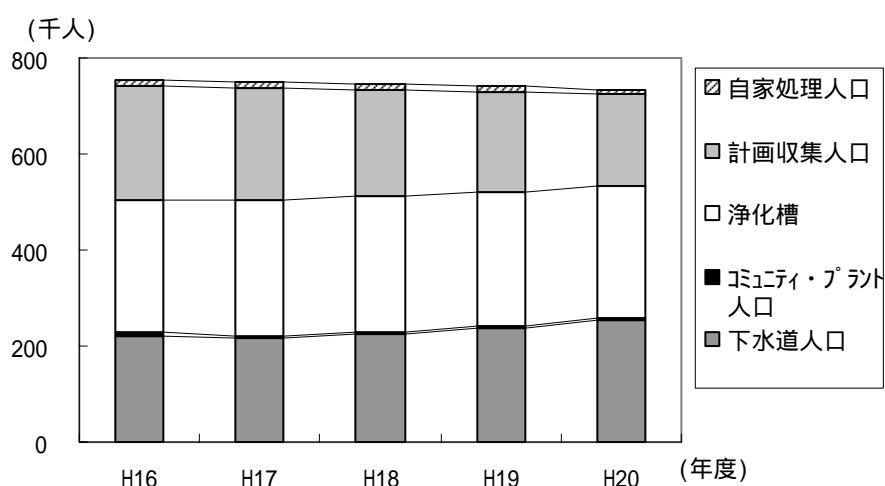
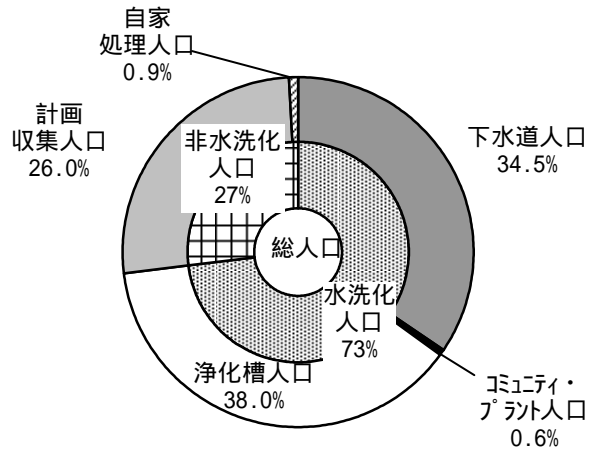


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口 = 水洗化人口 + 非水洗化人口  
 水洗化人口 = 公共下水道人口 + コミュニティ・プラント人口 + 浄化槽人口  
 非水洗化人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総処理量の内訳を図6-3に示す。

平成20年度における県内の総処理量は、304,095kℓで、前年より約2.2%減少している。内訳は浄化槽汚泥量が58.0%、し尿処理量が40.7%、自家処理量1.3%となっている。1人1日当たりし尿処理量は1.79ℓ/人・日、浄化槽汚泥処理量は1.71ℓ/人・日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		平成20年度
総処理量 (kℓ/年)		304,095
内訳	し尿計画処理量	123,798
	自家処理量	3,885
	浄化槽汚泥量	176,412
し尿計画処理量 (kℓ/年)		123,798
内訳	下水道投入	19
	し尿処理施設	123,703
	農村還元	76
浄化槽汚泥処理量 (kℓ/年)		176,412
内訳	下水道投入	392
	し尿処理施設	175,871
	農村還元	149
1日1人当たりし尿処理量 (ℓ/人・日)		1.79
1日1人当たりし尿排出量 (ℓ/人・日)		1.78
1日1人当たり浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日)		1.71

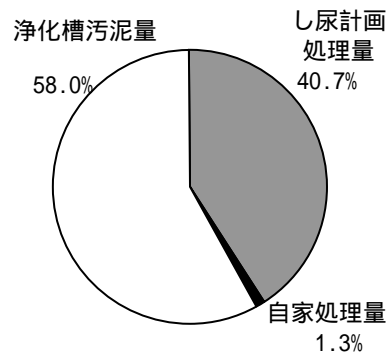


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kℓ/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥処理量  
 1人1日当たりし尿計画処理量 (ℓ/人・日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 365日 × 10<sup>3</sup>  
 1人1日当たりし尿排出量 (ℓ/人・日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 365日 × 10<sup>3</sup>  
 1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日) = 浄化槽汚泥処理量 / 浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口 / 365日 × 10<sup>3</sup>



### (3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表6-3、浄化槽の設置状況を表6-4、浄化槽の設置状況の推移を図6-4に示す。

平成20年度の県内のし尿処理施設数は12施設(処理能力856kl/日)である。また、コミュニティ・プラント数は8施設(計画最大汚水量2,334m<sup>3</sup>/日)である。

浄化槽設置数は合計67,673基で、去年より11,985基減少している。

平成20年度の浄化槽設置基数(個人設置型)は582基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設						コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	高負荷膜分離	高負荷一次処理	合計	
施 設 数	1	2	5	3	1	12	8
規 模 (kl/日)	40	117	268	361	70	856	2,334

注1) 好二段.....好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式  
 高負荷.....高負荷脱窒素処理方式  
 一次処理...一次処理後に下水道に放流  
 標脱...標準脱窒素処理方式(旧低二段)  
 膜分離...膜分離処理方式

注2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m<sup>3</sup>/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

区 分	浄 化 槽 設 置 基 数				
規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設 置 数	66,701	773	108	91	67,673

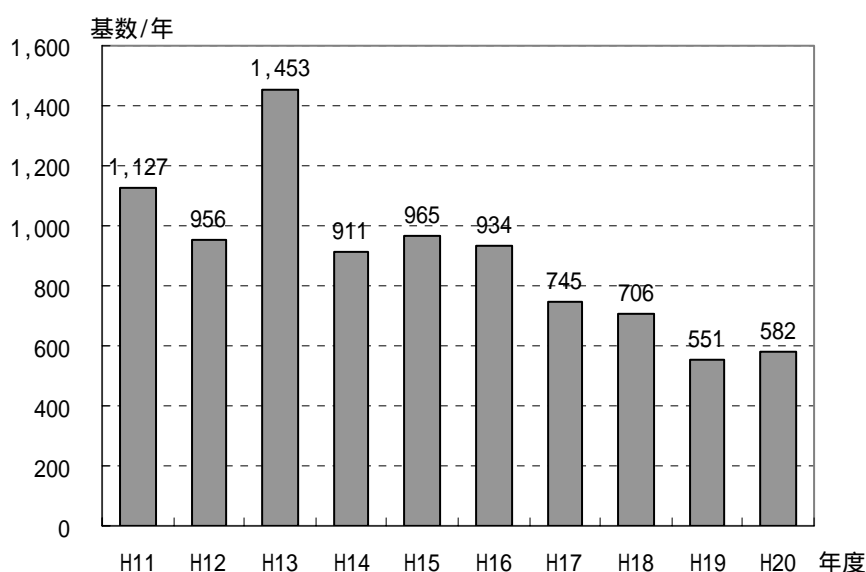


図6-4 浄化槽設置基数(個人設置型)の推移

## 7. 一般廃棄物処理事業の実態

### 7-1 廃棄物処理事業経費の概要

#### (1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要

県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

平成 20 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 12,882,791 千円であり、前年より約 6% 減少している。経費の内訳はごみ処理が 11,091,540 千円、し尿処理が 1,791,251 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

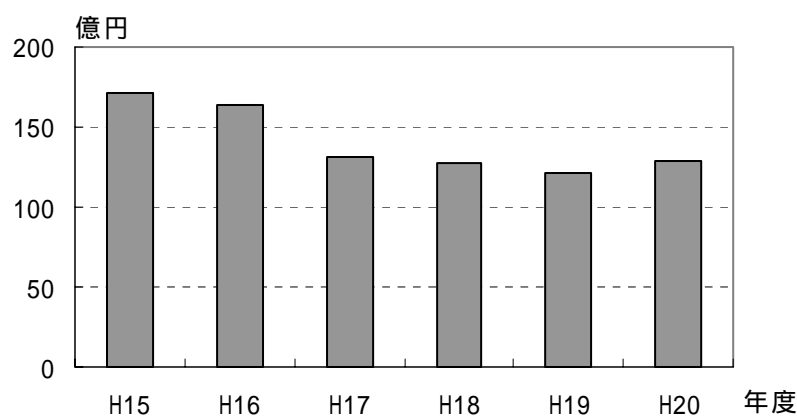


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(県全体)

#### (2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、松江地区が 5,015,012 千円 (45.2%) と最も多く、次いで浜田地区 3,227,324 千円 (29.1%)、出雲地区(22.0%)、隠岐地区 (3.7%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(県全体)

(平成 20 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	〔 市町村 分担金 〕	その他		
ごみ	379,714	2,088	1,510,950	1,734,023	1,781,591	891,469	6,573,296	11,091,540
し尿	1,440	0	45,600	275,033	360,338	75,595	1,393,583	1,791,251
計	381,154	2,088	1,556,550	2,009,056	2,141,929	967,064	7,966,879	12,882,791

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(県全体)

(平成 20 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費								処理及び維持管理費										その他	合計	
	工事費				調査費	〔 組合 分担金 〕	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				〔 組合 分担金 〕	調査 研究費			小計
	収集 運搬	中間処理	最終処分	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	1,467,347	81,291	0	4,321	239,337	1,552,959	2,233,928	121,359	1,174,149	143,462	40,698	2,119,737	1,950,058	172,534	49,154	1,542,254	11,673	8,016,752	1,521,829	11,091,540
し尿	0	42,958	0	11,340	3,040	0	57,338	333,755	9,807	1,016,014	0	0	82,477	230,196	3,809	2,219	360,338	932	1,679,209	54,704	1,791,251
計	0	1,510,305	81,291	11,340	7,361	239,337	1,610,297	2,567,683	131,166	2,190,163	143,462	40,698	2,202,214	2,180,254	176,343	51,373	1,902,592	12,605	9,695,961	1,576,533	12,882,791

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

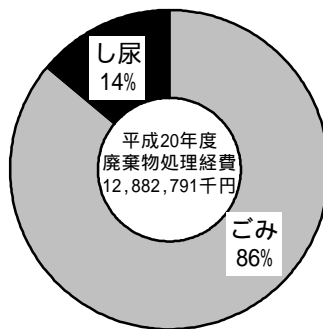


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳 (県全体)

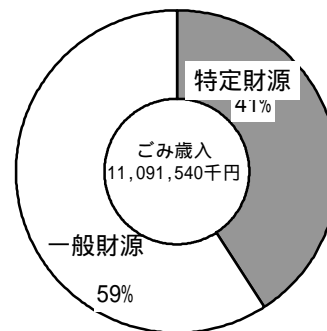


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(県全体)

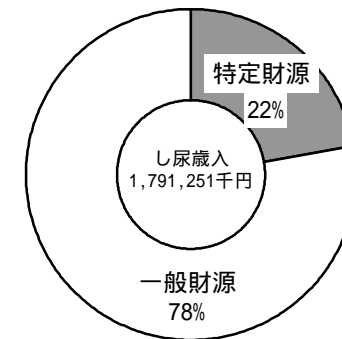


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳 (県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村) (平成 20 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	その他		
ごみ	379,714	2,088	1,485,150	1,522,665	849,559	6,521,363	10,760,539
し尿	1,440	0	45,600	234,106	46,760	1,377,009	1,704,915
計	381,154	2,088	1,530,750	1,756,771	896,319	7,898,372	12,465,454

表 7-4 歳出の内訳(市町村) (平成 20 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				組合 分担金	調査 研究費			小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	1,158,570	80,577	0	4,321	239,337	1,482,805	1,919,566	117,660	904,282	132,473	34,547	1,952,244	1,023,931	155,154	45,879	1,542,254	4,067	7,832,057	1,445,677	10,760,539
し尿	0	14,280	0	11,340	3,040	0	28,660	205,645	0	806,613	0	0	79,292	186,624	0	2,219	360,338	0	1,640,731	35,524	1,704,915
計	0	1,172,850	80,577	11,340	7,361	239,337	1,511,465	2,125,211	117,660	1,710,895	132,473	34,547	2,031,536	1,210,555	155,154	48,098	1,902,592	4,067	9,472,788	1,481,201	12,465,454

表 7-5 歳入の内訳(事務組合) (平成 20 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	市町村 分担金	その他		
ごみ	0	0	25,800	211,358	1,781,591	41,910	51,933	2,112,592
し尿	0	0	0	40,927	360,338	28,835	16,574	446,674
計	0	0	25,800	252,285	2,141,929	70,745	68,507	2,559,266

表 7-6 歳出の内訳(事務組合) (平成 20 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費																その他	合計	
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				調査 研究費			小計
	収集 運搬	中間処理	最終処分	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他				
ごみ	0	308,777	714	0	0	309,491	314,362	3,699	269,867	10,989	6,151	167,493	926,127	17,380	3,275	7,606	1,726,949	76,152	2,112,592
し尿	0	28,678	0	0	0	28,678	128,110	9,807	209,401	0	0	3,185	43,572	3,809	0	932	398,816	19,180	446,674
計	0	337,455	714	0	0	338,169	442,472	13,506	479,268	10,989	6,151	170,678	969,699	21,189	3,275	8,538	2,125,765	95,332	2,559,266

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳（地区別）（平成 20 年度, 単位：千円）

歳入	特 定 財 源					一般財源	合計	
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料(市町村分担金)	その他			
松江地区	375,792	0	1,458,150	609,177	0	151,557	2,420,336	5,015,012
出雲地区	1,000	2,088	49,200	623,454	446,714	380,850	1,380,190	2,436,782
浜田地区	2,922	0	3,600	424,874	1,334,877	337,136	2,458,792	3,227,324
隠岐地区	0	0	0	76,518	0	21,926	313,978	412,422
合計	379,714	2,088	1,510,950	1,734,023	1,781,591	891,469	6,573,296	11,091,540

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳（地区別）（平成 20 年度, 単位：千円）

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	(組合) 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				(組合) 分担金	調査 研究 費			小計
	収集 運搬	中間処理	最終処分	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
松江地区	0	1,097,586	3,585	0	0	0	1,101,171	1,201,985	32,359	512,524	69,826	21,808	818,404	628,209	27,932	3,776	0	0	3,316,823	597,018	5,015,012
出雲地区	0	68,709	714	0	3,003	0	72,426	337,270	14,637	263,975	42,941	635	687,389	136,517	13,727	42,996	446,714	4,067	1,544,154	820,202	2,436,782
浜田地区	0	301,052	76,992	0	1,318	239,337	379,362	537,865	55,760	273,905	18,308	11,224	608,652	1,110,158	120,590	1,625	1,095,540	7,606	2,745,693	102,269	3,227,324
隠岐地区	0	0	0	0	0	0	0	156,808	18,603	123,745	12,387	7,031	5,292	75,174	10,285	757	0	0	410,082	2,340	412,422
合計	0	1,467,347	81,291	0	4,321	239,337	1,552,959	2,233,928	121,359	1,174,149	143,462	40,698	2,119,737	1,950,058	172,534	49,154	1,542,254	11,673	8,016,752	1,521,829	11,091,540

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

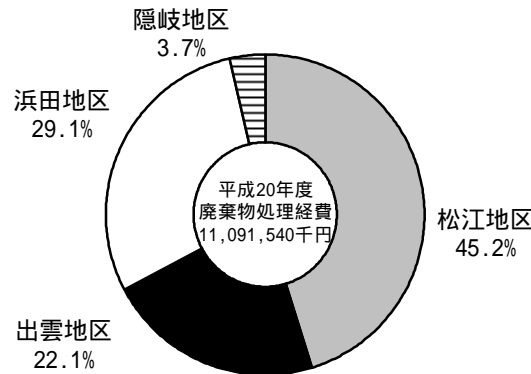


図 7-5 地区別の内訳

## 7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。  
平成 20 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 373 人である。  
内訳は、ごみ処理が 325 人、し尿処理が 48 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分	ご み		し 尿		合 計		総 計	
	市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一般職	事務系	133	17	11	4	144	21	165
	技術系	58	11	12	11	70	22	92
技能職	収集・運搬	50	2	0	0	50	2	52
	中間処理	27	15	4	2	31	17	48
	最終処分	7	2	0	0	7	2	9
	その他	3	0	4	0	7	0	7
合 計		278	47	31	17	309	64	373

## 7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。  
平成 20 年度末における委託・許可件数は市町村では 367 件、事務組合では 58 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況 (単位:件数)

区 分	市町村		事務組合	
	委託業(法第6条)	許可業(法第7条)	委託業(法第6条)	許可業(法第7条)
ごみ	委託業(法第6条)	88	19	
	許可業(法第7条)	214	32	
し尿	委託業(法第6条)	4	0	
	許可業(法第7条)	61	7	
合 計		367	58	

## 7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 20 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11, 12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ご み	し 尿	合 計
業者数	152	43	182

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	収集運搬	中間処理	最終処分	合計
従業員数	1,670	208	25	1,898

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

## 8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設( PFI 事業施設含む )のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵方式	ダイオキシン類濃度測定値( ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )				
		今回調査結果 (H20.4.1 ~ H21.3.31)	今回調査結果 (H19.4.1 ~ H20.3.31)	(H16.12.1 ~ H17.11.30)	H14.12.1 からの 排出基準	備考
松江市 "	南工場 北工場 BF EP	<b>0.0045</b> <b>0.042</b> <b>0.091</b>	0.0075 0.13 0.12	0.014 0.032 0.044	1.0	
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	<b>1.6</b> <b>0.92</b>	0.37 0.05	0.049 0.084	5.0	
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	<b>0.00093</b> <b>0.00000047</b>	0.00000057 0.00000094	0.00024 0.00043	0.1	
邑智郡総合事務組合 笹畑クリーンセンター	BF	<b>0.29</b>	0.81	0.24	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BP	<b>0.0094</b> <b>0.0041</b>	0.00057 0.00027	0.0012 0.00030	1.0	
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BP	<b>0.0033</b> <b>0.0000013</b>	-	-	1.0	新設
隠岐の島町 清掃センター	BF	<b>2.1</b>	3.8	3.6	10	
海士町 海士町清掃センター	BF	<b>0.77</b>	0.11	0.23	5.0	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	<b>0.4</b>	0.0001	4.7	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	<b>0.25</b>	0.089	0.057	-	
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	<b>1.5</b>	3	3.2	10	
安来市 清瀬クリーンセンター	BF	-	-	6.4 3.7	10	休止

注)1 集塵方式において、EP = 電気集じん器、MC = マルチサイクロン、CC = キャスケット形サイクロン、BF = バグフィルター、\* = 二次燃焼重力沈降方式。